











新居地区住民自治協議会主催「カルチャー in 新居」での 伊賀市社協での缶バッジ作り体験コーナー

令和4年度

地

域社会とのつながり・見

人と人とのかかわり、生きがいや意

・課題に直面している人々への支援

感染拡大防止を進めつつ、生活上

求められています。

など、社会の絆の再構築などが

伊賀市社会福祉協議会 活動トピックス

4

染拡大の影響は、私たちの生活に危や和4年、新型コロナウイルス感地域社会の実現」を目指人らしい生き方』ができる人らしい生き方』ができる「緊急時においても『その「緊急時においても『その「緊急時においても『その

ボランティアやご寄付などで多くの民のみなさんの助けを求める声に、生の息子は、痩せ細っていません。」「成て、ぎりぎりの生活で、経済的に苦も影響が及び、「息子は1日2食にして、ぎりぎりがの生活で、経済的に苦も影響が及び、「息子は1日2食にした。」があために、痩せ細っていません。」「成機をもたらしました。」やがなさんの影響は、私たちの生活に危楽拡大の影響は、新型コロナウイルス感令和4年、新型コロナウイルス感

令和4年度 活動ハイライト

たちの心の支えにもなりましれるんだなと感じた。」という声



コロナの影響を受ける学生に 食糧や生活用品でエールを

ĺţ

私

せてくださる方がいると思えて、

れが

支援をお届けした方から、「心

必死に寄り添った|年でした。

みなさんに支えていただきながら

んばれ

た。」「何かあれば助けてく



コロナ禍でアルバイト収入や仕送りの減少など、学業や生活に影響を受ける地元出身の学生がいます。「地元を離れて寂しいが、伊賀からの応援でぬくもりを感じられて嬉しかった」など喜びの声も寄せられました。



生活相談を通じた 生活再建へのサポート



コロナ禍で失業や減収となった世帯に、無利子での 生活資金の貸付や、家賃の支払い支援の仕組みの紹 介などの生活援助活動を行いました。生活問題の根 本解決に向けて、継続的に相談支援をしています。



自宅待機者の生活の危機を 乗り越えるための支援



第7波の猛威により自宅療養者が急増、8 月には 300 世帯 1000 人を超える市民から助けを求める声が殺到 し、過去最多の出動回数を更新。小さな子どもの感染 も多く、市民の生活危機に必要な支援を届けました。



子育て世帯の生活に影響大 食を通じて地域で子育てを応援



コロナの影響で収入が減収したり、物価高騰によって、 節約しても生活に大きな影響を受けている子育て世帯 が多いことがわかりました。相談支援や食糧支援など を通じて、子育てや子どもの成長を応援しています。



ひきこもりを正しく理解し 支え合う人を増やす



ひきこもりを社会全体の課題と捉え、共に活動していただく"ひきこもりサポーター"を養成。18 人の登録サポーターによる、居場所 nest や nest 農園での麦やジャガイモ作りの農作業などの支援活動が始まりました。



災害時も、誰も孤立させない 地域をつくる



外国人は災害情報など情報収集の制約や、地域コミュニティとつながる機会が十分でないなど、災害発生時にあらゆる場面で困難に直面する可能性があります。 外国人防災リーダーを初めて養成、14人の仲間ができました。



本人が望む最期までの生き方と 逝き方に備えて



近年、相続トラブルが増えており、決して一部の人の 問題ではありません。残された子どもや自分のために も、「最期までの生き方と逝き方」ができる社会の実 現をめざして、終活セミナーを初めて開催しました。

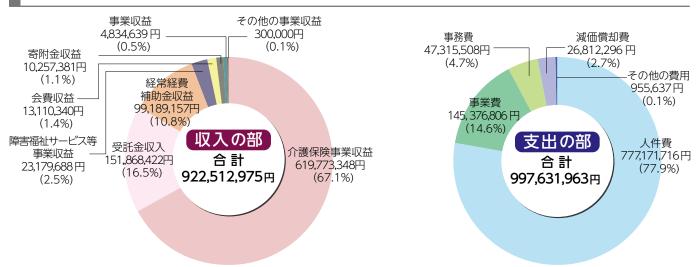
●健康寿命

命を脅かす健康リスクを減少 するための活動開始



健康寿命を短くする原因には、睡眠不足、孤独、運動 不足などがあります。健康のリスク少しでも下げ、長 く健康で過ごすために、つながることのできる居場所 や機会を増やす活動をはじめています。

令和4年度 伊賀市社協 決算(事業活動収支)



9生活困窮

伊賀市社協地域食堂 マスコットキャラクター ともにタベルン♪

つながりを築くことが難しい社会情勢 ■お腹いっぱい食べること

の貧困率は11・5%となっており、 うデータも出ています。また、近年は近隣 の調査から2・5ポイント改善しました。 表した国民生活基礎調査によると、 親と学校の先生に限られる子どもも増えて 住民との関係も希薄で、 と非常に高く、 しかし、 いると言われています。 2023年7月4日に、厚生労働省が発 ひとり親世帯の貧困率は4・5% 約半数が困窮しているとい 話をする大人は、 3 年前 子ども

も多くあります。また、「学校と自宅以外 残らず、 に行く場所がない」「晩ごはんは、 しい」「家賃と光熱水費を支払うとお金が 一人で食べる」といった状況もあります。 伊賀市社協にも、「物価高騰で生活が苦 食費しか削れない」といった相談 自宅で



地域でサポート ■子どもの育ちや社会的なつながりを

堂は、 学びの場でもあります。地域(子ども)食 ポートする、家でも学校でもない「第3の 齢者まで誰もが気軽に立ち寄ることができ 格で食事をすることができ、子どもから高 居場所」として注目されています。 を果たし、子どもたちの健康と成長をサ 会うことのできる場であり、体験・交流・ 役割があるほか、学校や家庭以外の人と出 ですが、地域食堂には孤食や孤独の予防の る居場所です。 してくれる場所というイメージを持ちがち 地域(子ども)食堂は、無料または低価 社会的な支援の場として重要な役割 一見すると、 食事を提供

地域食堂連絡会

視察研修 桑名子ども食堂 太陽の家

地域食堂等支援助成事業

【助成内容】上限1万円

しともにタベルン♪推進事業

2 共通 【助成内容】上限5万円分のJA商品券

※助成枠に達し次第終了 【申請期限】令和6年2月末日 地域(子ども) 食堂の運営団体 ※要件あり 【対象】伊賀市内で実施及び実施予定の 決定します。 【助成決定】申請書類提出後、 審査の上、

【問合せ先】伊賀市社協各地域センター









|地域食堂の立ち上げや活動を応援

ぜひ伊賀市社協までご連絡ください。 ています。 の方、これから立ち上げたいとお考えの方は、 令和4年度より「伊賀市地域食堂連絡会_ を立ち上げ、 また、活動推進のために、助成事業を行っ 伊賀市社協は、この活動を推進するため、 意見交換、 地域食堂に協力したい方、 市内で活動する団体の情報共 研修の場を提供しています。 企業



赤い羽根共同募金 🥟 配分事業助成 団体一覧

★社協は、身近な地域の居場所づくりを支援します★

◆伊賀市内ふれあい子育てサロン ・子どもの居場所実施団体一覧





会名称	活動場所	開催日	開催時間	対象者(子どもの年齢等)
子ども食堂	おあいこなかまちサテライト	月2回/日	11:30 ~ 12:30	子育て中の親、子ども、地域の人
「わいわいいがっこ」				
プチモモ	(主に) 公園	月1回/不定期	10:00 ~ 11:30	子育て中の親・子ども(0~12)長期休みの時は対象児の姉兄も参加
かんべ元気っ子広場	神戸地区市民センター	年10回/第1月	10:00 ~ 11:30	子育て中の親、子ども0歳~3歳
虹のおくりもの	上野東部地区市民センター	月2~3回/火·木·日	10:00 ~ 13:30	障がい等当事者、子育て中の親、子ども0~15歳
子育てサークル マッシュ	友生地区市民センター	月1~2回/火	10:00 ~ 13:30	子育て中の親・子ども0~5歳、未就学児
おもちゃ図書館あそび	いがまち保健福祉センター	月1回/土	13:30 ~ 16:00	障がい等当事者、子育て中の親
まるまるの会	市内市民センター	月1回/金曜日	10:00 ~ 12:00	子育て中の親と子0~6歳
つばめサロン	市内集会所・市民センター	月1回/土	10:00 ~ 14:00	障がい等当事者、子育て中の親、子ども0~12歳、地域住民
陽だまり子育てサロン"いいばーちょ"	陽だまり文庫	月2回/月	11:00 ~ 14:00	子育て中の親、子ども0歳~、支援者ほかどなたでも

面和海的。的会的会外自

は、 地域団体やボランティア、当事者組織などが主体となり、交流の 場づくりを通して、社会的孤立や孤独感を解消し、生きがいや楽 しみ、日頃からのつながりづくりなどを目的としています。

◆いきいきサロン

高齢者や障がい 者が集まり、ふ れあい交流を図 る場



▶コミュニティ カフェ

地域の集いの場、 会話の場

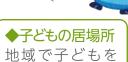


◆子育てサロン

未就学児とその 親が共に参加し 交流・相談活動



お問い合わせは、 社協各地域センタ



見守り、育てて いく場



毎月の寄付者募集

1日33円からできるサポート



伊賀市社会福祉協議会

私たちは、地域社会を良くするために、 制度の狭間となる課題解決に挑戦し続ける団体です。 ぜひ、ご寄付という形で私たちの活動を支えてください。

【申込・お問い合わせ先】伊賀市社会福祉協議会 ☎21-5866 • FAX26-0002





令和5年度

地域福祉 団体活動 助成



赤い羽根共同募金 / 配分事業助成団体一覧

伊賀市社協では共同募金配分金を活用し、伊賀市内における地 域福祉活動を行う当事者組織、ボランティア団体及び地域団体が 行う①活動備品購入事業 ②研修・学習活動推進事業 ③地域交 流支援事業に対し、助成しています。

各団体からの申請に基づいて共同募金委員会審査委員会の意見 をお伺いし、下記のとおり助成金交付を決定しました。

団体名(順不同)	助成対象事業内容	決定額(円)	
東部地域住民自治協議会	●食を通じた子どもから大人までだれもが集える場の創出のための備品購入助成	44,000	
神戸地区交流の館「北斗の館」運営委員会	●脚折りたたみ式テーブル・脚立 購入費助成		
依那古地区住民自治協議会	① e スポーツ活動・アクティビティ活動 備品購入費助成	25,000	
地緣団体町区自治会	●折りたたみ椅子 購入費助成	30,000	
丸柱地域まちづくり協議会	●丸柱地域グランドゴルフ同好会共催事業 活動備品購入費助成(子ども用)	150,000	
内保 田んぼの学校	●米作りを通した地域の様々な世代との交流 活動備品購入費助成	30,000	
特定非営利法人杜のカフェいこいこ	● ガス給湯器 購入費助成	84,000	
柏野福祉会めだかの学校	● ウッドベンチ 購入費助成	13,000	
つばめサロン	●子どもたちの居場所づくりのための備品購入費助成		
布引地域住民自治協議会	●自立型ハンモック 購入費助成		
川北区	○お座敷チェア 購入費助成	14,000	
いっぷくしてだぁ~こ	●冷蔵庫 購入費助成	150,000	
友生小学校	②地域の人からの聴き取り学習・交流 講師謝礼助成	30,000	
上野西小学校	②地域の方とのわくわく体験活動・聴き取り活動等 講師謝礼助成	30,000	
上野南小学校	②郷土を好きになる活動・人権総合学習 講師謝礼助成・バス賃借料助成	60,000	
久米小学校	②米作り体験や読書活動、福祉活動等の大切さを学ぶ授業 講師謝礼助成	30,000	
岩倉区	❷仲間づくり・生きがいづくり・健康づくり等の研修・学習活動 講師謝礼助成	30,000	
ひだまりの会	②地域の見守り活動・地域福祉向上のための研修 バス賃借料助成	30,000	
読み聞かせグループ「みなみ風」	②読み聞かせ活動スキルアップのための研修会 講師謝礼助成	30,000	
伊賀音楽療法研究会	②音楽療法に関する理論的・実践的研究および事業 講師謝礼助成	30,000	
西柘植小学校	②校区内・近隣地域住民等との交流事業 講師謝礼助成	30,000	
まるまるの会	②子育てや暮らしについての研修・学習会 講師謝礼助成	30,000	
阿波地域住民自治協議会	❷【第 14 回さるびの寄席】開催事業 講師謝礼助成	30,000	
大山田小学校	②地域交流事業・命の学習 講師謝礼助成	60,000	
府中小学校	②住みよい社会にするための活動をしている人との交流・出会い 講師謝礼助成	30,000	
成和東小学校	②聞き取り活動・体験活動 講師謝礼助成	30,000	
伊賀市母子寡婦福祉会上野支部	②料理教室・健康教室 講師謝礼助成	30,000	
上野手をつなぐ育成会	②知的障がい者の防災体験学習 バス賃借料助成	30,000	
島ヶ原小学校	❷障がいを個性と受け止め、前向きに生きている方等との出会いの授業講師謝礼助成	30,000	
河合地域住民自治協議会	②地域共生社会の実現のための講演会 講師謝礼助成	30,000	
あやま介護者の会「太陽の会」	❷園芸教室 講師謝礼助成	20,000	
阿山小学校	②差別をなくすなかまになるための出会いの授業等 講師謝礼助成	30,000	
阿山中学校	❷自己の生命および他者を大切にする気持ちを育む授業 講師謝礼助成	30,000	
あやま&いがリウマチあゆみの会	②手芸・創作活動等 講師謝礼助成	30,000	
大山田中学校	②全校ヒューマンタイム人権講演会 講師謝礼・バス賃借料助成	60,000	
山田地域住民自治協議会	②人権研修会 講師謝礼助成	30,000	
母子寡婦福祉会 青山支部	❷園芸福祉講習会 講師謝礼助成		
本と人の交流の館 陽だまり文庫	②人形劇団による公演 講師謝礼助成	30,000	
伊賀市立青山中学校PTA人権·家庭教育部会	2講師を招いての研修・学習活動 講師謝礼助成	30,000	
プチモモ	③ 夏まつり・ハロウィンパーティー等 講師謝礼助成	30,000	
大山田地区民生委員児童委員協議会	③「子どもフェスティバル」 講師謝礼助成	30,000	
	수計 1.75	$\sim 000 \square$	

改選を行いました。 満了に伴い、理事・監事・評議員の た方々をご紹介します。 伊賀市社会福祉協議会では、 新たに選任され (役職) 任期

理事 選出区分/氏名※敬称略

学識経験者 学識経験者 福祉専門機関 福祉専門機関、 各種住民組織 各種住民組織 団体 団体 和田 薮内 奥澤 平井俊圭 (会長 井上 勝本順子副会長 文子 順子 重久 勝

学識経験者 学識経験者 学識経験者 学識経験者 田邊 中尾 巾川 本城 浩康 知律 理

選出区分/氏名※敬称略

寿

社会福祉事業に識見を有する者

中嶋

孝

社会福祉事業に識見を有する者

稲森 洋幸

財務管理について識見を有する者 辻村 美樹

終結の時まで ち最終のものに関する定時評議員会の 後2年以内に終了する会計年度のう 期任期:令和5年6月23日から選

令 和 的5研作度 前 に関す 研 る

研修を実施します。仲間といっしょ に介護について学びませんか? に関する基本的な知識や技術を学ぶ 企業や団体へ講師を派遣し、

内容 次から希望内容を選択

時間 基礎講座/介護に関する基礎 における安全確保等 老化・認知症・ 入門講座/基本的な介護の方法 移動・移乗、 介護の基本 (各1・5時間 食事・入浴ほか)、 障害の理解、 (概ね1 介護 ر 3 知

実施方法

学識経験者 学識経験者

平田

<u>久</u> 紀忠

小竹

②オンライン研修(インターネットを ①出前研修(会場へ講師を派遣) 【申込者】本研修会の開催を希望する 活用し、オンラインでの研修を事前 に決定した内容・時間にて実施

> ※申込後、 その他

> > 講師との日程調整を行う

体を除く 員会・学校法人その他の団体 ※介護事業所を運営する法人・ 寸

三重県内の企業・自治体・教育委

【受講者】三重県内に居住する介護未 経験の介護を学ぶ意欲を持つ者 ※最低遂行人数は5名以上

養用 受講料 無料

※会場使用料 (有料会場を使用する

> 場合) 負担 (オンライン研修の場合) およびインターネット通信料 は申込者

【申込期間】令和6年1月31日 〈実施日程】令和6年2月2日 までの期間内で希望する日程 必 未

8月15日火 13:00~16:00

※基礎講座の2科目を修了した方に 研 修 ます。 は、 除されます。 受講する場合に基礎講座の受講が免 三重県知事名の修了証を発行 (会場およびWeb講座)」 また、 「介護に関する入門

※介護職場への就労希望者には、 【申込・問合せ】 職業紹介・マッチング支援を行います。 無料

2059-227-5160 三重県社協 三重県福祉人材センター

集 中



サポステは、15歳~49歳までの仕事をされていない方とじっくりと向きない、本人やご家族だけでは解決が難しい「働き出す力」を引き出し、「職場を着するまで」を全面的にバックアップする、厚生労働省委託の支援機関です。ご家族もぜひ、ご相談ください。 サポステ出張相談(ハロ-ワ-ク伊賀)

●キャリアコンサルタント●臨床心理士●精神保健福祉士などの専門職が全力でサポート!

☎ 0595-**22-0039** 図iga-saposute@npo-en.or.jp 伊賀市上野丸之内500 ハイトピア伊賀3階 ■開所日/月〜金 9:00~17:00 (土·日·祝·年末年始は休み)

要予約



いが若者サポートステ

数字で見る伊賀市の福祉

令和5年6月末現在(前月比)

- 86,411人 (-42人) 伊賀市の人口
- 29,222人 (+9人) 65歳以上の高齢者 ▶
 - 高齢化率
- $33.8\% (\pm 0\%)$
- 16,069人 (+39人) 75歳以上の高齢者
 - 後期高齢化率 18.6% (+0.1%)
- 6,167人 (+80人) 介護保険認定者数
- ※伊賀市の人口、65歳以上の高齢者及び高齢化率、 75 歳以上の高齢者及び後期高齢化率には、外国人 住民を含めています。
- ※ 75 歳以上の高齢者の全人口に占める割合を、後期 高齢化率と表記しています。
- ※介護保険認定者数は要支援・要介護認定者数です。

No.195 あなたのまちの ふれあい・いきいきサロン



朝日ケ丘町朝みどり会 メンバー数/18名 場所/朝日ケ丘町公民館 開催頻度/月1回

朝日ケ丘町朝みどり会は、令和4年4月からスタッフが入れ替り、 気持ち新たにスタートしたサロンです。 開催は月1回、第3土曜 日午後1時30分から、70歳以上の方が、映画鑑賞会や音楽療法、 創作活動等を楽しんでいます。

昨年度は、コロナ禍で休会することもあり、参加者が少ないこと が課題だったため、今年度はやってみたいことなどを参加者に聞き ながら、一緒に内容を決めています。また、回覧のみの周知方法に 加えて、サロン開催日が近づいてくると、対象者宅に詳細な内容を 書いた案内チラシをポストに投函することで、参加者が徐々に増え つつある状況です。

参加者からは、「ここに来たら久しぶりに会う人もいて、お話が できて良かったわ」との声がありました。またスタッフは、「ラジ 才体操も取入れて、健康寿命の延伸や、認知症・介護予防にも努め ています。またサロンに来ることで、家に閉じこもらず前向きな気 持ちになることを期待しています。」と話してくださいました。

No.204

山本 猛 さん(42歳) 上野在住

●活動を始めたきっかけ

僕が子どもの頃、今の僕と同じ歳くらいのおっちゃんおばちゃん が、地域のお祭りなどをしてくれていました。僕にはそれがとても 楽しい思い出になって残っています。僕も今の子どもたちに楽しい 思い出が残るようなことをしていきたいと思い、活動を始めました。

●活動内容

地域のお祭りや地域交流事業、僕の活動を応援してくださる事業 者様の店舗前などで、たこ焼きの出店や子ども向け遊びコーナー、 おもちゃのプレゼントコーナーを作るなどの活動をしています。 来てくれた子どもたちに笑顔で帰ってもらいたいから、ひとつでも 多く『嬉しい』を届けられるように取り組んでいます。

●今後の抱負

編集・発行

伊賀は、子どもたちのためなら積極的に協力をしてくれるとても 温かい風土があります。僕はそんな皆さんの想いを預かりカタチに して子どもたちに届けたい。小さくてもいいから『嬉しい』『楽しい』 の機会が身近なところに沢山あふれた、幸せな子ども時代の思い出 が残るまちづくりに貢献していきたいと思っています。

ե をつけてお過ごしくださいね。 で紙 の、は、 、缶バ 「カル ます。熱中症に、暑い夏になる いただいも ッ チ ヤ 全国的 作 体 5 ると たの 時活験新

❷ 伊賀市社会福祉協議会

〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1 階 ☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002 〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1 階

☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123 〒519-1413 愛田 513番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」 **☎0595(45)1012** / FAX0595(45)1050

〒519-1711 島ヶ原 4743 番地 島ヶ原福祉センター「清流」 **☎0595(59)3132** / FAX0595(59)3145
〒518-1313 馬場 1128 番地の 1 阿山保健福祉センター **☎0595(43)1854** / FAX0595(43)1577
〒518-1422 平田 656 番地の 1 大山田福祉センター

20595(47)0780 / FAX0595(46)1165 〒518-0226 阿保 1988 の 1 番地 青山福祉センター

☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555